

第13回村野藤吾建築設計図展  
The 13th Togo Murano Architectural Drawing Exhibition

# 村野藤吾の住宅デザイン The House Designs by Togo Murano

2015年3月16日[月]—6月6日[土]

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館  
Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間：10時—17時（入館は16時30分まで）

休館日：日曜日・祝日

（但し、4月29日[水・祝]及び5月3日[日]から5月6日[水]までの間は開館いたします）

入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料

（京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生は無料で学生証の提示により入館できます）

主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館／村野藤吾の設計研究会

Date : Mon. 16 March - Sat. 6 June 2015 Hours : 10:00 - 17:00 (admission until 16:30)

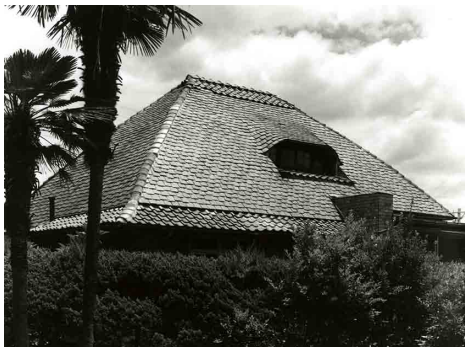
Closed : every Sunday, national holiday (except for Wed. 29 Apr. and Sun. 3 May till Wed. 6 May)

Admission : Adults 200yen / Students (college, university) 150yen / Free for high school students and below

\*Free for students of the university affiliated with University Museum Association of Kyoto

Organizers : Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology / The Research Group for Architectural Drawing of Togo Murano

<http://www.museum.kit.ac.jp/>



大丸神戸支店店員寄宿舍舎監住宅 (撮影: 多比良敏雄)



大阪パシジョン (撮影: 多比良敏雄)



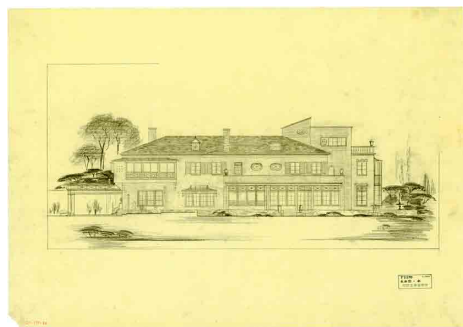
中林邸 (撮影: 多比良敏雄)

村野藤吾 (1891-1984 年) の住宅作品は、これまで、大丸神戸店舎監の家や中山悦治邸、中山半邸、中林仁一郎邸、指月亭、松寿荘、自邸など特定のものを除いて、作品集ではほとんど紹介されてきませんでした。しかし京都工芸繊維大学美術工芸資料館が収蔵する村野の図面資料の中には、100を超える住宅作品が含まれています。そこには、いわゆる邸宅のみならず、建売住宅や社宅、集合住宅、そしてアンビルトと見られるものまで、様々なタイプの住宅作品が存在します。

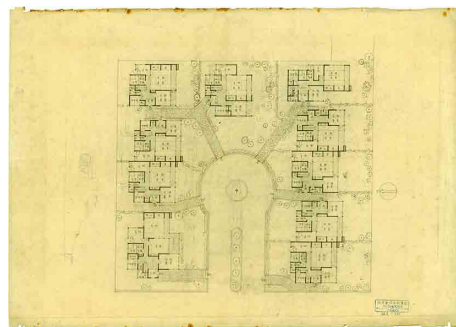
その作風は、和風を基調としたものが多くを占め、彼が日本の建築的伝統をどのように解釈していたか、多くの示唆が得られると思われます。その一方で、戦前を中心に、モダニズムによるものやアムステルダム派風のものなど、村野が関心を寄せていた多様な造形が現れることも注目されます。

「住宅はもっとも人間に直結しており、また施主と建築家がまさに一対一で向かい合う (中略) 大建築の設計をする建築家になるためにも住宅設計の修練を積みねばならない」(「設計について」『建築と社会』1951年7月号) という言葉に端的に表れているように、村野藤吾は、住宅が建築のなかでも特別の重要性を有していると考えていました。

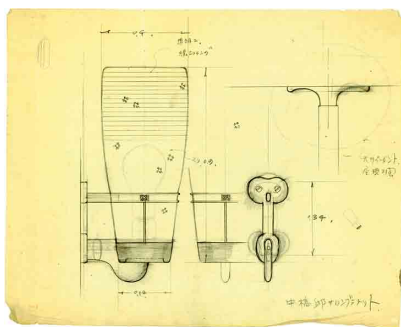
今回は、戦前期に焦点を当て、デザインや設計経緯に特徴がある 14 作品を選定しました。その多くは現存しませんが、図面資料を主として写真や模型を通じて、村野の住宅作品の多彩さを味わうとともに、村野にとっての住宅とは何であったのか、その理念や手法、施主との関係、時代性などを読み解きたいと思ひます。



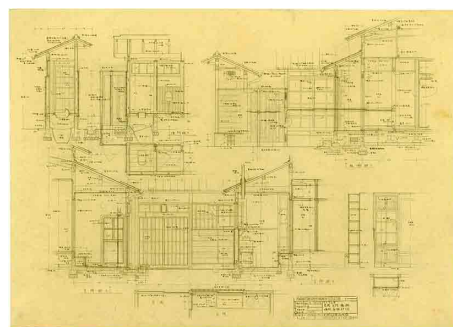
下村邸計画案 立面図 (VII-111-2)



親楽会住宅 配置図 (VII-84-10)



中橋邸 電燈検討図 (AN.5314-22)



川崎航空機工業岐阜工場社宅 矩計図 (AN.5179-4)

### ◎ 出展作品

大丸神戸支店店員寄宿舍 (1931年) / 同舎監住宅 (1931年) / 下村邸計画案 (1932年) / 大阪パシジョン (1932年) / 中山悦治邸 (1934年) / 武智邸 (1934年) / 清流亭計画案 (1937年) / 親楽会住宅 (1939年頃) / 川崎航空機工業岐阜工場社宅 (1939年) / 中山半邸 (1940年) / 中橋邸 (1940年) / 村野藤吾自邸 (1940年) / 中林邸 (1941年) / 湯浅邸計画案 (1943年)

### ◎ 記念シンポジウム

## 「村野藤吾の住宅デザイン」

2015年4月11日[土] 14時—17時

会場: 京都工芸繊維大学 60周年記念館

定員: 150名 (入場無料・当日先着順)

<パネリスト>

藤森照信 (建築史家・東京大学名誉教授)

木原千利 (建築家・木原千利設計工房主宰)

<司会>

石田潤一郎 (京都工芸繊維大学大学院教授)

### ◎ 同時開催

ハンガリーのデザイン

— ジョルナイ工場の陶磁器と映画ポスター

文化遺産教育センター企画

京焼の新たな戦略

— 明治期における陶磁器の収集品より

### ◎ お問い合わせ | Contact

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

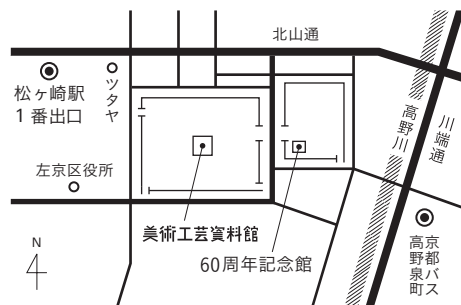
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto 606-8585

Tel: 075-724-7924 Fax: 075-724-7920

E-mail: siryokan@kit.ac.jp

<http://www.museum.kit.ac.jp/>



### ▽ アクセス | Access

<地下鉄>

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」1番出口から右(東)へ約400m、4つ目の信号を右(南)へ約180m

<バス>

京都バス「高野泉町」下車、馬橋を渡り左へ約200m

<By Subway from Kyoto Station>

Take the "Kokusai Kaikan" bound Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, and walk east for 8 min.